

芝生用殺虫剤

ダイアジノン[®] SL ゼル

ダイアジノンマイクロカプセル剤

芝生の害虫防除が

こんなに手軽で

いいんだろうか。

張り芝前の
コガネムシ類幼虫に適用拡大！
さらに使いやすくなりました。

それは、
マイクロカプセルの
おかげです。

薬剤がカプセルに包まれて、
画期的に長い期間安定した
防除効果を発揮。そのため
手間いらず。しかも、薬剤
に直接触れずにすむので、取
り扱いがとりわけ安心、ス
ムーズです。



マイクロカプセルだからこそ、優れた持続効果。 防除コスト削減のお役に立ちます。

【ダイアジノンSLゾルの特長】

① 毒性と魚毒性が大幅に軽減。

ダイアジノンSLゾルは普通物、A類相当の画期的な製品です。
散布作業の安全性や周囲の環境に配慮したうれしい薬剤です。

② 優れた持続効果で長期間防除。

散布処理で約2週間効果が持続します。
土壌注入（高圧灌注）された場合、コガネムシ類幼虫などを150
日間程度にわたり長期間防除します。

③ 食毒作用が効果のポイント。

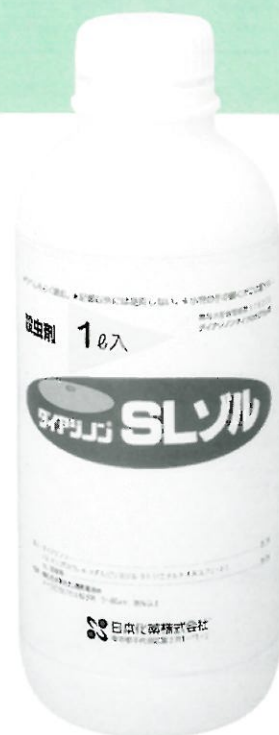
害虫の体内に取り込まれる際、口器および消化器官でカプセル
の膜が壊され、有効成分のダイアジノンが放出されて殺虫効
果を発揮します。

④ 低臭性の薬剤です。

薬剤臭が低く抑えられました。また、水に分散させた製剤ですから
有機溶媒の臭いが全くありません。

⑤ 危険物ではありません。

引火性のない非危険物です。危険物倉庫での保管が不要です。



《成分・性状》

種類／ダイアジノン マイクロカプセル剤
成分と含有量／ダイアジノン25%
化学名／(2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6-
ージエチルチオホスフェート)
カプセルの性質／ポリウレタ系樹脂
性状／類白色水和性粘稠懸濁液体 比重／1.03 pH／7～9
毒性区分／普通物 魚毒性区分／A類相当(製剤)

■適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期	ダイアジノンを含む 農薬の総使用回数	使用方法
芝	シバツトガ スジキリヨトウ シバオサゾウムシ成虫	1000	発生初期	4回以内	1㎡当り0.3ℓ散布
	シバオサゾウムシ幼虫	250			1㎡当り0.7～1ℓ 土壌注入※
	コガネムシ類幼虫	25	張り芝前		1㎡当り0.1ℓ 土壌混和
さくら	アメリカシロヒトリ	1000	発生初期		散布

※コガネムシ類(幼虫)、シバオサゾウムシ(幼虫)に対して土壌注入処理をする場合には、農薬を高圧噴射できるインジェクターを使用すること。

△安全使用上の注意

- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受ける。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤がある。
- 眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。(弱い刺激性)
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意する。
- 貯蔵は、直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管する。

△上手な使い方

- 散布液を作る
計量および希釈の直前には容器をよく振ってから使用して下さい。
2段希釈がポイントです。本剤の所定量をバケツなどの容器に入れ、等量～倍量の水を加えて、よく混ぜ合わせて下さい。この希釈液に、よく攪拌しながら水をさらに加えて、均一な散布液とします。
- 散布
希釈調製後は、ただちに散布して下さい。希釈調製後に静置しておいた場合には、散布前に十分攪拌して下さい。
- 散布後の処置
希釈や散布に用いた器具は、水でよく洗い、よく手入れをして下さい。
- 保管
凍結注意。冬季の低温時は保管場所に十分注意し、凍結を避けて下さい。

●ラベルをよく読んで下さい。●記載以外には使用しないで下さい。●小児の手の届く所には置かないで下さい。

●この印刷物は平成13年5月の登録内容に準拠して作成いたしました。

0105-10,000KS



緑をつくり、育て、緑を守る。

株式会社 理研グリーン

東京都台東区上野2-12-20 TEL/03-3833-6321
FAX/03-3833-6325

仙台支店 TEL 022-222-9599 東京支店 TEL 03-3835-8134
静岡支店 TEL 054-283-5555 名古屋支店 TEL 052-262-2861
大阪支店 TEL 06-6871-1691 グリーン研究所 TEL 0538-58-1282
福岡営業所 TEL 092-752-8391